

おいでよ！かながわ パート3

連合福島が共催

無人島の探検や海水浴を楽しむ！

～福島県内の小学生40名が参加～



福島駅西口の出発式で激励の挨拶をする今泉裕連合福島会長

の子ども保養プロジェクト。共催者として連合福島を始め東北労金福島県本部や全労済福島県本部など、福島県と神奈川県双方から多くの団体のサポートがあって、今年もこの行事が開催された。

8月5日の初日は、朝7時30分に福島駅西口に集合して出発式を行い、今泉裕連合福島会長から「この行事を通して、夏休みの楽しい思い出を沢山作って下さい。」など激励の挨拶を受けて、元気に神奈川に向かって出発した。

神奈川に着いてからは、入村式の後、自然観察の森を散策したりネイチャーゲームなどで交流を深め合った。



皆んなで木登りを楽しんでいます



おいでよ！かながわパート3の参加者の皆さん

屋外活動が困難な福島の元気いっぱいの子どもたちに、神奈川の緑と青空の下でおもいきり夏休みを楽しんでもらおうと、「福島子ども保養プロジェクト」として、今年も8月5日から7日にかけて「おいでよ！かながわパート3」が実施され、福島県内から40名の小学生が参加した。

主催者は東日本大震災避難者連帯事業神奈川実行委員会だが、連合神奈川を母体にして、後援・協力者として神奈川県教育委員会や福島

2日目はフェリーで無人島の猿島に渡り、島内探検や海辺での海水浴やスイカ割りに、子どもたちは弾けるような笑顔で大きな歓声を上げながら楽しんだ。夜はキャンドルファイヤーを囲んでのゲームなど、疲れを忘れて楽しんだ。最後の3日目は午前中キーホルダーづくりやポケモンラリーのゲームなどをしてから、お昼に神奈川を出発して夕方全員無事に福島に到着したが、参加者にとっては忘れられない3日間となった。